

## 第38回 香川大学学長選考会議要旨

日 時 平成29年5月23日(火) 10時00分～12時50分  
場 所 香川大学本部5階 第2会議室  
出席者 常盤委員(議長)、片岡委員(副議長)、天野委員、神余委員、竹崎委員、  
天雲委員、毛利委員、山本委員、原委員、今井田委員、中西委員、清水委員、  
眞鍋委員  
欠席者 田中委員

議事に入る前に、常盤議長から、学長選考会議の定足数が満たされていることの確認が行われた。

### 1. 審議事項

- (1) 学長候補者の選考について
- (2) 選考結果の公示等について

常盤議長の指示により、大麻総務グループリーダーから、参考資料1～6に基づき学長候補者の選考方法等について説明があり、続いて、学長候補適任者の所信聴取を、大平文和氏、笥善行氏の順で行った。

休憩をはさみ、加野意向聴取等管理委員会委員長から常盤議長に意向聴取投票結果が提出された。

意向聴取投票結果を大麻総務グループリーダーが開封し、報告を行い、続いて、無記名投票により各委員の意向確認を行ったところ、大平氏3票、笥氏10票となった。

以上の結果、笥氏を学長候補者(任期は、平成29年10月1日から平成33年9月30日までの4年間)として決定し、審議資料1～2を基に公示案及び選考結果の公表案を策定の上、審議承認した。

(笥氏を学長候補者として決定した理由)

学長選考会議は、両学長候補適任者に対して面接を行い、所信を聴取し、意向聴取の結果を参考として、国立大学法人香川大学学長候補者選考基準により、笥善行氏を学長候補者として決定した。

笥氏は、理事・副学長(研究・評価担当)として、強いリーダーシップを発揮して新学部設置等の大学改革を推進してきた実績があり、今後の大学改革の方向性についても明確で具体的な構想を有している。

地方国立大学を取り巻く厳しい状況が続くなか、第3期中期目標・計画期間の2年目を迎えて、これまで進めてきた大学改革を継承し、更に充実・発展させることが次期学長に求められる最も重要な使命であることから、笥氏が学長として適任であるという結論となった。

### 2. その他

なし

以 上